

2021年10月27日

日本国土開発が独自開発した「回転式破碎混合工法[®]」が 「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」国土交通大臣賞を受賞

日本国土開発株式会社（代表取締役社長：朝倉健夫、本社：東京都港区赤坂4-9-9）が独自開発した「回転式破碎混合工法（通称：ツイスター[®]）」が、このたび「令和3年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」において国土交通大臣賞を受賞しました。

同表彰は、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会が1992年から毎年実施しているもので、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）に率先して取り組み、顕著な実績を上げている団体や企業などを表彰しています。今回で29回目を迎え、環境・3R分野の表彰としては、日本でも有数の規模を誇る制度として広く定着しています。

回転式破碎混合工法は、円筒内で高速回転する複数本のチェーンの打撃力で地盤材料の破碎・細粒化（解砕）を行うとともに、添加材料を均一に分散させる効果を持つ土質改良工法です。一つの機構で破碎と混合を同時に行える従来にない画期的な工法で、高含水比粘性土から軟岩まで幅広い土砂性状に適應するため、建設発生土の有効利用に適しています。

この工法を日本国土開発が独自開発し、2016年7月には普及を目的に「回転式破碎混合工法研究会」が設立されました。現在8社の会員が連携し、遊水地事業や河川堤防改修、港湾埋立において高品質なリサイクル改良土の提供を促進しています。また、VOC（揮発性有機化合物）や油の汚染土浄化、集中豪雨、津波堆積土におけるガレキふるい分け除去についても活躍しています。このような取り組みが評価され、このたび回転式破碎混合工法研究会が「令和3年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」の国土交通大臣賞を受賞しました。

日本国土開発グループは、経営理念である「わが社はもっと豊かな社会づくりに貢献する」を基本として、取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の1つに「自然災害対応」を掲げています。近年多発する集中豪雨や大型台風による自然災害に対し、回転式破碎混合工法の活用により、堤防嵩上げや拡幅工事、防水堤設置などを行い、今後も「災害に強い国土づくり」の実現を目指していきます。



回転式破碎混合工法研究会

住所：茨城県つくば市みどりの東18-1

日本国土開発(株)つくば未来センター内

TEL: 03-5410-5755

FAX: 03-5410-5808

URL: <https://www.twister-grp.com>

<会員社>

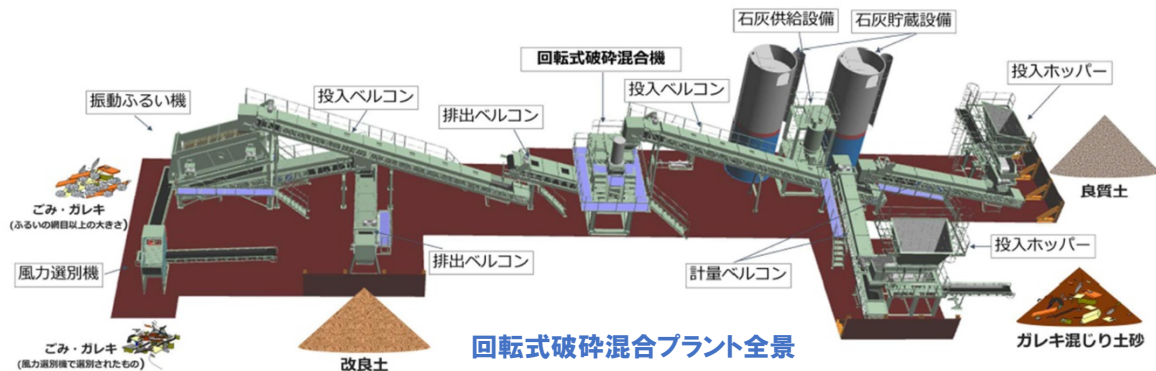
日本国土開発(株)	国土開発工業(株)
日本基礎技術(株)	道路工業(株)
三信建設工業(株)	東亜道路工業(株)
海洋工業(株)	太洋基礎工業(株)



<参考資料>

■ 回転式破碎混合工法について

河川氾濫などの自然災害では、水を含んだ粘着度の高い土砂が多く発生しますが、これまでは土砂を収集して運搬・処分をしていました。回転式破碎混合工法は、土砂の適用範囲が広く、従来工法では困難だった高含水比の粘性土にも対応可能で、水害に遭った場所でガレキ混じりの不良土の土質改良、災害廃棄物分別を行うことができ、サステナブルなリサイクル技術に貢献しています。



■ 高含水比粘性土のリサイクル: 利活用困難な粘土を改質して有効利用



リサイクル前(高含水比粘性土)



高含水比粘性土供給状況



リサイクル後(改良された高含水比粘性土)

■ 地下茎を含む土砂のリサイクル: 地下茎混じりの高含水比粘性土から地下茎を取り除き有効利用



リサイクル前(地下茎混じり高含水比粘性土)



リサイクル後(分別された葦・地下茎)



リサイクル後(品質改良土)

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 戦略本部戦略部 (広報担当)

電話 03-5410-5601